

Navi

Navi

① 税理士になって

② 街の保健室と呼ばれるような薬局薬剤師をめざして

Vol.
185

2021.9

① 税理士になって

高校生保護者 永田欣也(税理士)

税理士とは、税の専門家であると同時に、個人や企業の社長さんから相談を受けたり、経営者の良きサポーターです。

主な仕事は、

① 依頼された個人や企業の業績を記録した帳簿を集計、記録し、所得税や法人税、そして消費税などを計算します。

② 個人の財産を他の者からもらった時にその財産の評価をして贈与税の計算をします。

③ 個人が亡くなった時にもその財産の評価をして相続税の計算をします。

私達の周りは、税金でいっぱいです。日本には約50種類の税金があり原則として自分で計算し自分で納めます(自己申告納税制度)。

税金は、税に関する法律に従って計算しますが、この法律は難しいので、税に関する法律の専門家である税理士が税金の計算をしたり、申告納税制度のお手伝いをします。

納税する事に、いいイメージを持っていない方もおられますと思いますが、周りには税金が使われているものがたくさんあります。

健康や生活のため(医療や福祉、年金)、教育や科学技術の発展のため(学校やロケット、スーパーコンピューターなど)、国民の安全・安心のために使われたり、公園や道路、水道の整備に使われたりと、税金は国民みんなのために使われています。

但し税金を納めるにも、公平でないと納税する気持ち、意識にならないと思います。公平とは平等とは違います。皆さんがこの公平をどのように解釈するかで、この意識も税に関する考え方も変わってきます。能力に応じて負担(応能負担)する税、特定の人(一定のサービス、利益を受けた人)が負担(応益負担)する税がありますが、最後は税理士による納税者の方への対話と説明が絶対欠かせません。

税務業務以外にも、お客様(顧問先、クライアント)目線に立てば、様々な案件を提案します。事務所で請け負う事が難しい業務も様々な資格取得者(司法書士、社会保険労務士、弁護士等)と連携しチームで解決していきます。

私の事務所で取り扱っている税務業務以外での内容にも少し触れておきます。

① 開業支援や経営支援業務

資金調達(銀行からの借入金)や会社設立の為に届出、株主総会支援、マーケティング等

② リスクマネジメント業務

経営者が病気や怪我などで事業を継続する事が難しくなった時の為に「生命保険」や「損害保険」の提案等。

③ 業務向上、改善業務

売上や経費データの分析資料を作成し、売上アップの為に

実態支援

④ 資金繰り支援業務

仕事での運転資金や税金などを納めるにしても、お金が必要になります。そこで数ヶ月前から資金計画を立て、資金を調達する為に金融機関へ赴き、交渉や折衝を重ねたり、企業や個人の経営による財政状態をあらわす貸借対照表(タイシャクタイショウヒョウ)から余分な資産がないか調べたりもします。他にも様々な方法や提案を模索していく事になります。

⑤ 事業承継業務

次の経営者に事業を引き継ぐ為の支援をしています。なるべく経営者が引退する前に行うのが理想ですが、突然志半ばで引退される事もあります。

最近では、突然経営者のご家族から電話があり、病院に赴き、経営者の遺志を聞く事になりました。最後は事業承継が解決し、ご家族から涙ながらにお礼を言われた事が、この仕事をしてきて良かったと思える瞬間でした。

最後に税理士の仕事は、会計と税務を中心にその周辺業務を行う事で、事業を行う会社、経営者、従業員、そしてその家族の財産と生命を守り、繁栄させる事業のお手伝い、ひいては社会の一翼を担う大事な仕事であると思っています。

経営者の方には、20代で独立間もないやる気に満ちあふれた若い方もいます。税理士も20代前半で試験に合格し独立する方もいます。新しい仕事もこの世にどんどん生まれ、そのニーズは、やる気があるかぎり必要とされ続ける事と思います。

税理士を目指すのであれば、大学では経済学、経営学、法学、商学系を選択し履修されると思いますが、心理学も大変興味深いと思います。人と接し、相談者として活躍するシーンがあるからです。また理系で工学を勉強して税理士になる方もいます。中学高校での学びを生かし、次のステージでも、何事も一生懸命に楽しく頑張ってください。その事が社会に出た時に必ず生きてきます。

皆様のご活躍を心待ちにしています。



② 街の保健室と呼ばれるような薬局薬剤師をめざして

中学生保護者 黒田亜弥子(薬剤師)

皆さん、こんにちは。私は40年ほど前に清教学園幼稚園に通ってキリストの精神を学んだ卒園生です。月日が経ち清教学園の皆さんに職業紹介をさせていただくことになり不思議な縁を感じております。

皆さん、薬剤師という職業を知っていますか？ 聞いたことある、という人は多いと思います。驚いたことに、近年は将来なりたい職業で、男女とも上位に入るようになり、今年のランキングでは女子部門で1位に選ばれる程だんだん認知度もあがってきました。もちろん男性薬剤師もここ近年はかなり増加しました。逆をいえば、30年ほど前まで薬剤師という職業はほとんど脚光を浴びることはありませんでした。それは1990年代後半から社会的背景(医薬分業)が劇的に変わり仕事内容が変化したことで認知されるようになったと考えられます。現在日本の薬局は6万店舗近くまで増えました。これは薬剤師の先輩たちが医薬分業のもとでがんばった功績です。しかし今、これに甘んじては淘汰されてしまうという危機感を感じています。薬剤師のあり方はこれからもどんどん変わっていき、「薬剤師ってこんなこともできるんだよ」と言えるような価値ある薬剤師にならないといけなないと考えています。少し厳しい事を言ってしまいましたが、どんな仕事もそうですよね。

私の経歴を少しご紹介しますと、薬科大学卒業後は製薬会社に就職し会社員として働き、その後は病院で薬剤師として働き、出産を期に育児に専念。ブランクを経て調剤薬局に勤務。今は小さな薬局の店長をするまでになり、地域の健康情報拠点となって医療へ貢献できるような新しい薬局の形を目指し奮闘しております。

まず薬剤師になろうと思ったきっかけをお話させてもらいます。きっかけは、別段あったわけではありません。私の姉が当時薬学部の大学にいたため、将来の夢のない私は姉の背中を見て大学に入ったのです。学生時代は勉学の成績が良かったわけでもありません。大学受験の勉強は特別なものはしませんでした。学校の授業を真面目に受け課題をこなすという日々を過ごしていました。塾も通いませんでした。

次に、大学のお話です。薬剤師になるためには国家試験を受験するため、国家試験の受験資格を得られる薬学部を卒業しないとイケません。2006年から6年制課程の設置がスタートしました。将来の進路を真剣に考える時間がたくさんあり大学生活を長くenjoyできると思います。

そして大学卒業後の進路です。大学に残って研究を続ける大学院生、製薬会社・食品会社・化粧品会社などの研究職・臨床開発職・学術部・マーケティング部・販売部などの会社員、

調剤薬局・病院・ドラッグストア・学校などで働く薬剤師、国や地域のために働く公務員、はたまた薬局や看護介護施設などを経営する社長など進路にバリエーションがあるというのが大きな特徴だと思います。

最後に調剤薬局の仕事内容をお伝えします。調剤薬局の仕事は、医療機関から発行された処方箋のお薬の服薬指導や患者さんの家や老人ホームなどに行きお薬の服薬指導をおこなっています。今は薬剤師も薬局の外に行き、在宅の患者さんやそのご家族、ケアマネージャーさん、訪問看護師さん、医師などと色々と話す機会も増え多種連携をおこなっています。また健康の維持増進への取り組みとしてセルフメディケーション(セルフケア)にも力をいれており、健康相談もしております。薬局が起点となり患者の症状にあわせて受診勧奨や薬の販売など最適な医療を提供していけるような薬局を展開し、また地域の方が困った時にまずは薬局に行くという街の保健室に思ってもらえるような薬局を目指し挑戦は果てしなく続いております。

清教学園の皆さん、将来のことを考えると不安になる方もいるかもしれませんが。将来の夢が決まっていない方も薬剤師という職業を選択肢にいれてみてはどうでしょうか？今は興味があっても大学や就職すると興味が出てきて「かっこいい薬剤師になりたい」、「日本の医療を変えるんだ」、「街の保健室になる」など同じ思いを持つ同志の輪をもつようになると思います(私がそうでした)。読んでいただきありがとうございました。清教学園のみなさんのご活躍を楽しみにしております。

